

# 加賀検定

## 第2回 加賀ふるさと検定試験問題

初級（全60問）

2014年 11月30日

加賀ふるさと検定・おもてなし講座実行委員会

各問題に対して、それぞれ①～④までの選択肢の中に正解が1つあります。解答用紙に、正解と考える番号を1つだけ○で囲って下さい。(黒色のエンピツもしくはボールペンを使用のこと)

- 1 加賀市には、縄文時代から、弥生、古墳時代までの古代遺跡が、これまでに、おおよそ( )か所が確認されている。  
① 150                      ② 350                      ③ 650                      ④ 850
- 2 加賀市の( )遺跡は、貴重な木製品や稲作を示す炭化した米粒などが出土し、「北陸の登呂遺跡」とも呼ばれ、当市の弥生時代を代表する農耕遺跡である。  
① 猫橋                      ② 藤の木                      ③ 横北                      ④ 柴山出村
- 3 加賀市( )町にある狐山古墳は、国の史跡に指定されている。  
① 勅使                      ② 分校                      ③ 二子塚                      ④ 横北
- 4 平安時代、白山五院の一つであった「大聖寺」と称する寺院は、現在の( )付近に在ったと考えられている。  
① 実性院裏山                      ② 江沼神社                      ③ 錦城山                      ④ 畑町
- 5 寿永2年、平家の武将斎藤実盛は、加賀国篠原の地で( )の家来手塚太郎光盛に討ち取られた。  
① 木曾義仲                      ② 平時忠                      ③ 源義経                      ④ 源頼朝
- 6 文明3年、本願寺第8世蓮如は、( )に道場をつくり当地方に浄土真宗を広めた。  
① 瀬越                      ② 塩屋                      ③ 吉崎                      ④ 三木
- 7 天正3年、長篠の合戦により武田軍に勝利した織田信長は、その後、越前・加賀に侵入し、北陸を平定したため、おおよそ( )年続いた一向一揆の支配が終焉した。  
① 50                      ② 100                      ③ 150                      ④ 200
- 8 天正11年の賤ヶ岳の戦いの後、丹羽長秀の与力であった溝口秀勝は大聖寺城主として入部したが、慶長3年、越後の( )に国替えとなった。  
① 高田藩                      ② 村上藩                      ③ 長岡藩                      ④ 新発田藩
- 9 関ヶ原の戦いにより、大聖寺城主山口玄蕃は西軍につき、東軍の( )との間で、錦城山を舞台に激しい戦いをした。  
① 柴田勝家                      ② 佐々成正                      ③ 前田利長                      ④ 堀秀正
- 10 大聖寺藩前田家の菩提寺である( )の裏山には、大聖寺藩歴代藩主の墓が建っている。  
① 本光寺                      ② 全昌寺                      ③ 慶徳寺                      ④ 実性院

- 11 大聖寺藩は城を築くことが認められず、現在の（ ）が建っている場所あたりに藩邸屋敷を建てた。  
①錦城小学校 ②大聖寺地区会館 ③加賀聖城高等学校 ④加賀市民病院
- 12 藩祖利治公が亡くなった際、（ ）人の家来が殉死した。  
①3 ②4 ③5 ④6
- 13 大聖寺の江沼神社境内に建つ（ ）は、大聖寺藩3代藩主前田利直の休息所として建てられたもので、国の重要有形文化財に指定されている。  
①無限庵 ②成巽閣 ③竹涇館 ④長流亭
- 14 加賀藩や大聖寺藩では、村内における有力な農民を（ ）と称する役職に任命し、村全体の管理や徴税に当たらせた。  
①村肝煎 ②村頭 ③村目付 ④十村
- 15 大聖寺藩の参勤交代は、江戸時代250年間の中で、江戸へ行く「参勤」と、国元に帰る「交代」が、合計で（ ）行われた。  
①24回 ②62回 ③102回 ④181回
- 16 大聖寺藩3代藩主利直の弟前田利昌は、宝永6年、上野寛永寺の塔頭で大和柳本藩主を殺害したことで切腹となったが、この事件は俗に（ ）事件と呼ばれている。  
①飛騨守 ②大聖寺 ③寛永寺 ④采女<sup>うねめ</sup>
- 17 享和3年（ ）は、正確な日本地図をつくるために全国各地を回り、その年の6月に大聖寺藩領内の海岸沿いを測量した。  
①伊能忠敬 ②間宮林蔵 ③近藤重蔵 ④松浦武四郎
- 18 明治4年7月、廃藩置県により、「大聖寺県」が誕生したが、（ ）ヶ月後、金沢県に合併された。  
①4 ②6 ③8 ④10
- 19 明治元年、大聖寺藩は官軍から弾薬の調達を命じられ、その資金不足を補うために（ ）のほら穴で贋金をつくった。  
①法皇山 ②鞍掛山 ③錦城山 ④大日山
- 20 明治11年に明治天皇が北陸巡幸をされた際、大聖寺においては（ ）でご休憩をされた。  
①長流亭 ②願成寺 ③錦城小学校 ④実性院
- 21 明治36年に新家熊吉が創業した「新家商会」は、自転車の（ ）を製造した。  
①サドル ②ブレーキ ③リム ④タイヤ

- 22 江沼郡では、明治44年（ ）たちが中心となって、多額の出資をして「大聖寺川水力発電株式会社」を設立し発電事業に乗り出した。  
①旅館経営者 ②北前船主 ③機業家 ④漆器業者
- 23 ( )年、大聖寺の錦城小学校を主会場に、骨董から教育資料・工業製品・学校生徒の作品などさまざまな資料を展示した「大聖寺博覧会」が盛大に開かれた。  
①明治12年 ②明治28年 ③大正6年 ④昭和7年
- 24 加賀市の面積は、およそ( )平方kmである。  
①280 ②306 ③422 ④502
- 25 加賀市で最も高い山は、標高( )mの大日山で、その頂上は小松市との境界線上に位置している。  
①768 ②1,268 ③1,368 ④1,568
- 26 柴山潟は、昭和29年から行なわれた干拓事業により、それまでの面積のほぼ( )に縮小した。  
①2分の1 ②3分の1 ③4分の1 ④5分の1
- 27 明治8年、山中の( )で良質の黒鉛が発見されたことで、大聖寺で「加州松島社」と称する鉛筆製造会社がつくられた。  
①九谷 ②真砂 ③片谷 ④大土
- 28 測量地点「加賀菅谷」での記録によれば、当地のここ30年間の年平均気温はおよそ( )となっている。  
①11.8度 ②13.1度 ③15.2度 ④17.8度
- 29 ラムサール条約登録湿地の片野鴨池は、絶滅危惧種( )が飛来する国内有数の場所である。  
①ガン ②ヒシクイ ③トモエガモ ④マガン
- 30 秋、河原や空地では、北アメリカ原産の外来植物である( )が黄色い花をつけて繁殖し、在来種のススキなどと勢力を競っている。  
①ブタクサ ②セイタカアワダチソウ ③ハルジオン ④トウネズミモチ
- 31 大聖寺の町屋は、道路に面した間口が狭く、いわゆる( )の寝床と呼ばれていた。  
①へび ②ハモ ③ウナギ ④アナゴ
- 32 山代温泉では、狂言師野村万之丞が創作した「楽劇・大田楽」に基づいた演舞に( )による開湯伝説を取り入れた山代大田楽が毎年、服部神社前で開催されている。  
①カラス ②サギ ③カモ ④キツネ

- 33 毎年8月27日から、動橋町の振橋神社では、毒蛇伝説に基づいた「( )焼き祭り」が行なわれる。  
①どじょう ②あゆ ③ぐず ④へび
- 34 「べろべろ」とは、( )を溶かして、溶き卵を流し入れて固めたもので、お祭りや正月などの祝いの席によく出された郷土料理である。  
①カタクリ ②コンニャク ③カンテン ④コムギコ
- 35 加賀地方で広く使われてきた方言( )は、おもに「おおげさな」という意味で使われてきた。  
①がっぱ ②かさだかな ③はしかい ④あてがい
- 36 篠原町には、竹の枝や幹の色が、金色と緑色の2色が交互になった( )と呼ばれる竹があり、国の天然記念物に指定されている。  
①金銀竹 ②金明竹 ③銀明竹 ④金緑竹
- 37 加賀市の( )には、アカテガニやツルガマイマイなどが生息している。  
①鴨池 ②柴山潟 ③鹿島の森 ④加佐ノ岬
- 38 加賀市の片野鴨池周辺では、江戸時代より( )猟という独特の鴨猟が行なわれてきた。  
①棒網 ②投網 ③突網 ④坂網
- 39 大聖寺藩の関所門は、明治2年、関所が廃止されたことで、大聖寺山ノ下寺院群のひとつである( )に移され、現在に至っている。  
①実性院 ②全昌寺 ③宗寿寺 ④本光寺
- 40 大聖寺藩では、特に14代藩主前田利鬯が能楽を愛好したことで、( )には、利鬯から拝領した貴重な能面や能装束が伝えられている。  
①江沼神社 ②菅生石部神社 ③加賀神明宮 ④春日神社
- 41 山代温泉薬王院の五輪塔は、平安中期に悉曇学(梵語)を極め、多数の著書を残した僧( )の供養塔だとされている。  
①空海 ②最澄 ③延昌 ④明覚
- 42 大聖寺藩士石川嶂は、日本で最初に( )に汽船を走らせた人物である。  
①柴山潟 ②河北潟 ③琵琶湖 ④山中湖
- 43 大聖寺穴虫(現在の錦町付近)出身の( )は日本放送協会(NHK)の初代会長となった。  
①岩原謙三 ②飛鳥井清 ③梅田五月 ④竹田儀一

- 44 大聖寺耳聞山出身の( )は、日本の口語短歌の先駆者として知られる。  
 ①西出朝風 ②森本仁平 ③竹久夢二 ④広田百豊
- 45 当市出身の科学者中谷宇吉郎は、東京帝国大学や理化学研究所で( )の弟子となり、その後の研究活動に大きな影響を受けた。  
 ①高峰讓吉 ②長岡半太郎 ③湯川秀樹 ④寺田寅彦
- 46 加賀市大聖寺出身の作家、深田久弥の業績を展示する「山の文化館」は、もと( )の建物を利用したものである。  
 ①銀行 ②織物会社 ③酒屋 ④学校
- 47 加賀市( )では、江戸時代から麦芽糖を利用した飴づくりが盛んであった。  
 ①作見町 ②吸坂町 ③黒瀬町 ④天日町
- 48 加賀市( )町では、江戸時代からお茶の栽培が盛んで、近年では、ここで穫れた茶葉をつかった「加賀の紅茶」が商品化されて話題となっている。  
 ①動橋 ②中島 ③打越 ④柴山
- 49 J A加賀では、近年、( )を原料とした焼酎を商品化し、話題となっている。  
 ①かぼちゃ ②ブロッコリー ③長芋 ④栗
- 50 右に示すゆるキャラの名前は( )である。  
 ①ヤマクロくん ②すぱクロくん ③ゆげクロくん ④かもマルくん



### 専門テーマ「北前船」10

- 51 「北前」の語源は諸説があるが、現在、もっとも有力なのは( )番の説である。  
 ①北を前にして向かっていくことから出た言葉  
 ②北へ「米」を運ぶ「北米」が転化したもの  
 ③北海道を回る「北回り」が北前に転化したもの  
 ④大阪・瀬戸内からみて日本海側一帯の地域を指す言葉
- 52 北前船の経営の特徴は、おもに( )で儲けを得ていたことである。  
 ①利鞘(差額) ②運送料 ③船貸し料 ④乗船料
- 53 江戸時代、北前船は、大阪から瀬戸内を通り北海道までを、そのほとんどを( )だけで1年かけて、ひと往復した。  
 ①火力 ②水力 ③人力 ④風力
- 54 北前船で北海道から大量に運んだ( )は、食用だけでなく、綿花や藍を栽培するときの肥料としても使われた。  
 ①シャケ ②ニシン ③コンブ ④ホシナマコ

- 55 越前足羽山から採れた（ ）石は、別名「青石」とも呼ばれ、北前船で全国各地に運ばれ、建築物の腰石や敷石に使われた。
- ① 笏谷<sup>しやくたに</sup>      ② 御影<sup>みかげ</sup>      ③ 滝ヶ原      ④ 大谷
- 56 加賀市における「北前船の3大拠点」とは、橋立・瀬越・（ ）の3ヶ所を指している。
- ① 片野      ② 塩屋      ③ 吉崎      ④ 篠原
- 57 当市の「北前船の里資料館」は、橋立の北前船主（ ）の邸宅を資料館として公開しているものである。
- ① 久保彦助      ② 忠谷久五郎      ③ 増田又衛門      ④ 酒谷長兵衛
- 58 加賀市（ ）町の白山神社には、航海安全を祈願して船主や船頭が奉納した船絵馬が53点保存されている。これは1神社が所蔵する船絵馬としては北陸最大である。
- ① 上木      ② 瀬越      ③ 塩屋      ④ 橋立
- 59 橋立出身の北前船主（ ）は、明治期、函館に拠点を移し、カムチャッカなどに漁場を開くなど、北洋漁業に転身をはかり成功した。
- ① 大家七平      ② 広海二三郎      ③ 西出孫左衛門      ④ 久保彦兵衛
- 60 橋立や瀬越の北前船主や船頭衆が、湯治の際、松前や江差の追分を湯につかりながら歌い、それを湯女たちが聞いて真似て歌ったのが、民謡（ ）の始まりといわれている。
- ① 振橋節<sup>しんきょう</sup>      ② 土ねり節      ③ 山中節      ④ 鯉節